

安心の設計

介護、医療、子育て、老後に関するご意見・疑問をお寄せ下さい
 メールansin@yomiuri.com
 ファクス03・3217・9957

「年寄りは民芸品になれ」
 俺はよくそう言っている。例えば、茶わんや急須といった身の回りの生活用品。美術品のような贈物じゃなくて、実用的で使える物だ。邪魔にならず、使い込んだら輝く。そんな年寄りがたくさん出てきたらいいな。

3年前に105歳で亡くなった医師の日野原重明さんは生前、「年を取ったら素直になんなさい。みずみずしく、笑顔のすてきな年寄りにならないと損だよ」と話していた。

人生100年時代というけれど、年寄りが「俺たちは国の功労者だ」「国が面倒を見る」と威張っていたら、国が減びちゃうよ。もっと人のことを考えて尽くすことができたら、毎日を楽しく、有意義に過ごせる。「有用感」って言葉があるでしょ。年を取ったら、国や若い人たちにどうお返しをしようか考えなきゃ。

My Answer

【老後、どう楽しく?】



園田寛志郎撮影

毒蝮三太夫さん 84 タレント

元気で自立 笑顔で人に尽くす

そのためには、国の医療費を膨らませないように自立し、寝たきりにならないこと。体が衰えるのを遅らせるためにトレーニングやストレッチをやらなければならない。元気で長生きしてチャージングなジジイ、パパアになろうってことだ

1936年、東京都出身。48年に子役デビューして俳優となり、60年代には「ウルトラマン」「ウルトラセブン」にも出演。TBSラジ

オで69年の放送開始から半世紀を超えた「毒蝮三太夫のミュージックプレゼント」のパーソナリティーを、現在も務めている。

ね。若い人たちには知恵を与え、逆に元気をもらおう。これなら五分と五分でしょ。「あの人なら構ってあげたい」と思われる年寄りにならないと、介護してもらえなくなるよ。

ラジオで「パパア」「ジジイ」って呼びかけるのを毒舌と言われる。でも、東京・浅草の下町で育った俺にとって常套語さ。辺り構わず言ってるわけじゃないよ。この人なら笑ってくれる、大丈夫だ、という相手を選んでいる。相手がいやがらないように本音を言って、一緒におもしろがっちゃえってことだよ。

ファンが俺のことを、「歩くパワースポット」と言ってくれた。普通は、そこへ行く

なきゃならないけど、俺の場合は歩いて来てくれるからだって。そう言ってもらえるうちが華だな。でも、ファンが俺を笑わせてくれたことだっけ。すいぶんあったよ。今日はどんなパパア、ジジイに会えるかなって、いつも楽しみにしている。

「人は泣いて生まれ、笑って死ぬのがいい」。これも日野原さんの言葉。生まれた時は、ただ泣くことしかできない。それを見た周りは「元気だ。かわいい」と笑顔になる。でも、死ぬ時は「俺は幸せだった。極上の人生だ」とこり笑う。すると、周りは「死んじやだめ。悲しい」と嘆いてくれる。こういう最期が理想だね。(聞き手・野島正徳)

◇「My Answer」のシーズン3のテーマは、「老後、どう楽しく?」。原則、隔週掲載です。